

ふるさと 長井会

Support Nagai Journal 令和7年度 会報誌



つながる、長井。広がる、応援の輪。

Vol.9
2025

今こそ、 ふるさとの誇りを未来へ

フラワー長井線は現在、大きな岐路に立っています。それでも、季節ごとの風景に溶け込む健気な姿は、ふるさとの帰る心のレールをつないでくれる存在。そんな長井線の今をそっと切り取ります。



フラワー長井線の現状とは？

2025年(令和7年)、フラワー長井線を運営する山形鉄道は特殊詐欺被害や運転手不足が重なり、一時は運行体制が揺らぎました。そうした中で、地元や全国からの応援を力に、なんとか今日も走り続けています。

どこまでも続く田んぼ、近くに遠くに見える山なみ、木造の小さな駅舎。そんな風景やローカル列車を目当てに、鉄道ファンや写真好きの人たちが、全国から足を運ぶ姿も増えてきました。

地元の暮らしはいまやクルマ社会。長井線を日常の足として使う人は多くありません。一方で、イベント列車や沿線でのさまざまな取り組みには、市内外から自然と人が集まります。この数カ月、クラウドファンディングも実施され、多くの支援が全国から寄せられました。フラワー長井線はいま、多くの人のまなざしとエールを集めています。

「長井へ行くなら、長井線に乗ろう。」いつかそれが、私たちふるさと長井会の「当たり前」になりますように。



フラワー長井線 PRのために地域おこし協力隊に！
米屋こうじさん(鉄道写真家)

2025年春、フラワー長井線のPRを担う地域おこし協力隊として長井へ移住したのが、鉄道写真家の米屋こうじさんです。「各地の地方鉄道が赤字に苦しむ中、アイデアにあふれた施策で苦境に立ち向かう姿を取材するうち、『自分にも何か直接応援できないだろうか』と思うようになりました。これまでで会得した撮影スキルを活かし、フラワー長井線の魅力を伝えたい——その思いで協力隊に志願。現在は山形鉄道のSNS発信などに取り組んでいます。

ふるさとを離れ、遠方で暮らす方からは『変わらない風景が懐かしい』という声もよく届きます。フラワー長井線は大切な交通手段であると同時に、地域の魅力を全国に発信する“広告塔”。皆で守っていく意識が必要だと感じます。

私にとっての フラワー長井線 会員の声から

帰省して、あの可愛い車両に
遭遇するだけで、うるっときます。
(40代・コバヤシ)

迎えを断ってでも、
長井線に乗りたくなった。
(60代・MM)

昔は特別な思いがなかったけど、
今は「守りたい」気持ちです。
(40代・たかし)

インスタで見る機会が増え、
長井線の走る風景は
唯一無二だと気づきました。
(50代・鈴木)

花のラッピング車両はもう、
地元のシンボル！
(50代・鉄っち)

なくしてはダメ！
ただそれだけ。
(70代・Yokoya)



乗る・知る・関わる フラワー長井線の 楽しみ方

【貸切ってみる】

友人や家族だけで貸切すれば特別な思い出に。料金は片道30,000円(税込)、定期運行に増結して走ります。

【名物ガイドさんを頼んでみる】

方言バリバリ&落語もこなすガイドの井上俊一さんが案内。笑い発見だらけのローカル体験！

【懐かしい木造駅舎を訪ねる】

西大塚駅と羽前成田駅は国の登録有形文化財。映画のワンシーンみたいな駅舎で田舎気分が味わえそう。

【撮り鉄のプチ旅をする】

フリー切符やセット券など、お得な乗車券を利用して沿線の“映えスポット”めぐり。奇跡の1枚を撮ろう。

【イベント列車に乗ってみる】

地元の企画系イベント列車に注目！ラーメン列車、ビール列車、ワイン列車など実施日に合わせて長井へ。



長井線を知り尽くす井上俊一さん。ガイドの依頼は山形鉄道へ。



ハイカラな長井駅ももれなく撮影スポットに。何はなくても降りてみよう。



ふるさと長井会のハスミさんと仲間たち。東京からの長井ツアーは3回目。井上さんのガイドで長井駅へ。



昔のまんまの羽前成田駅。ホーム側もまた風情があって素敵です。



2025年の出前列車第三弾！「つったい(冷たい)呑み鉄旅」。これはバラダイス！

“生きた文化”に目が熱くなる!

体感せよ、ながい黒獅子まつり

毎年5月に開催される「ながい黒獅子まつり」は市内10数社の神社から黒獅子が集結。日中の沿道で獅子振りを堪能するもよし。メイン会場では、伝統の舞が夜まで繰り広げられます。



久しぶりに訪れるなら、目の前に広がる長井の濃密な時間、その先へ。

長井再発見

変わらぬ伝統、進化する長井に出会う

三淵渓谷は、黒獅子の神話と深くつながる場所。長井の黒獅子(=おしっさま)は、この渓谷に棲む水の神・龍神の化身だと伝えられています。「三淵渓谷通り抜け参拝」と呼ばれるこの地へ行く手段は、小さなゴムボートのみ。かつて長井ダムの完成以降、長く近づけなかった渓谷ですが、長年の取り組みを経て通行可能に。天候や水位に左右されるため、人気があるのに実際に行った人は意外にわずか。神話の世界に安全に静かに入っていけるボートツアー、今の長井だからこそ叶う特別な体験です。



① 黒獅子の神話が生まれたとされる、水の神域。水滴の首さえ大きく響くほどの静寂。
②③ 約1時間のボートツアー。ライフジャケットや雨具などはレンタルできてお手軽です。もちろん乗車は事前予約制。

④ 交流都市、タンザニアの選手団を先頭に。フルとハーフが同時にスタート。
⑤ 首都圏から参加した「ふるさと長井会」のメンバー。フル、ハーフ、ファンランと、それぞれの距離に挑戦。
⑥ フル完走の二人。怪我を押して参加、頑張りました!
⑦ ゴール後には新米おにぎり&名物「1000人芋煮」。



10月、走る人も応援する人も集まる1日「長井マラソン」

県内唯一のフルマラソン大会! 本気コースからお気軽コースまで、秋の長井を満喫。

毎年10月に行われる「長井マラソン」は、山形県で唯一の公認フルマラソン大会。フル、ハーフから2kmのエンジョイランまで、走力や目的に応じて参加できる種目がそろう、誰でも挑戦できるのが特長です。

意外と知られていない、手づくり感のあるこの大会。走る人、支える人、迎える人の距離が近く、静かに長く続いてきた理由が伝わってきます。

この日の参加者は約1000人。首都圏から参加した「ふるさと長井会」のメンバーも合流し、走る距離はそれぞれでも、秋の長井を満喫する一日になりました。



【長井マラソンの種目】
フルマラソン (42.195km)
ハーフマラソン (21.0975km)
ファンラン (4.2195km)
エンジョイラン (2km)
ファミリーラン (1km: 条件つき)

黒獅子のルーツは、ここにある!

「三淵渓谷通り抜け参拝」

どの季節も心を奪われる景色。静寂に包まれる、長井の秘境体験。

千年続く「おしっさま」今も受け継がれる祈り

長井に伝わる黒獅子(=おしっさま)は、千年にわたり舞い継がれてきた伝統神事。お囃子の音が鳴れば心が踊り、黒獅子を前にすれば自然と頭を下げる。そんな感覚が今も暮らしの中に息づいています。

昔は各神社でしか見られなかった黒獅子を、丸一日で体感できるのが、毎年5月に行われる「ながい黒獅子まつり」。市内各地の黒獅子が中央地区に集います。獅子頭の顔つきや大幕の違いはもちろん、動きや神楽を比べられる絶好の機会です。

今回は黒獅子の魅力を発信し続ける、ふるさと長井会サポーター会員の遠真(えんしん/遠藤真之亮)さんに、奥深い魅力と楽しみ方を聞きました。



遠藤真之亮さん
長井在住/ふるさと長井会サポーター会員
Instagram @enshin9644

Q/A 遠真さんに聞く 長井の黒獅子のこと

Q なぜ20年ぶりに長井へUターン?
A 関東で働きながら黒獅子の魅力を伝えてきましたが、毎週帰省して発信活動をすることに限界を感じ…。今年、黒獅子に深く関わる覚悟で長井に戻ってきました。

Q 黒獅子マニアになったきっかけは?
A 物心つく前から獅子に夢中だったことは確かです。コロナ禍で祭りが自粛され、行き場を失った自分の黒獅子への情熱から、歴史や伝承を深掘りするようになりました。そこで黒獅子の魅力を再認識したように思います。

Q どんなふうにも黒獅子PRを?
A YouTubeでは各神社の例大祭を13年にわたって記録。Instagramでは日程や見どころを発信しています。地元を離れた人にも、その希少性や価値を伝え、熱気を届けたいんです。

Q 例大祭を見ることは可能?
A 黒獅子の魅力は各神社の「例大祭」に詰まっています。伝統神事ですが見学は可能。日程は遠真のInstagramで見てください。

Q 例大祭に行くのはハードルが高いような?
A まずはぜひ5月の「ながい黒獅子まつり」へ。30数年前に始まった観光向けのお祭りで、

10数社が市内を練り歩き、一堂に会します。YouTubeでは長井市による生中継もあります。

Q 黒獅子まつりの見どころは?
A 観光向けとはいえ、例大祭と変わらない黒獅子が見られます。各神社の違いを現地で体感してほしい。今年は祭りの前夜、東京から来た長井会の皆さんに「黒獅子講座」で楽しみ方を解説しました。そんな講座もできますのでお気軽にお声がけください。

Q 黒獅子の一番の魅力は?
A 黒獅子は十数人で一体の獅子の動きを作るムカデ獅子。それは形の特徴ですが、本当の魅力は獅子の動きのダイナミックさです。時折、獅子舞ではなく「獅子という生命体」がいるんじゃないかと錯覚してしまうほどです。

Q これからの黒獅子への思いは?
A 各神社とも人手不足は深刻ですが、「振り手」一人一人が熱意を持って一生懸命稽古に励み、継承しています。この「守り継ぐ力」を皆さんもぜひ応援してください。

Q ふるさと長井会の会員ができることは?
A 世界に誇れる長井の黒獅子を、とにかく一度見てほしい。難しければSNSやLIVE配信でもいいので、興味をもって見てほしいです。現地でも直接見られる方はもちろん、「お花代」などの参加や応援も大歓迎です!

つながる! 動き出す! ふるさと長井会★最新活動レポート★

さまざまなつながりや挑戦が生まれているふるさと長井会。
令和6年度下半期から令和7年までの
部会の活動やイベントを中心に、主な出来事をご紹介します。

会長からひとこと
楽しみながら、
息の長い活動を



ふるさと長井会 会長
桑島寛之さん

「ふるさと長井会」が発足して10年。「会員相互の親睦」と「長井市の発展に寄与」を目的として活動しています。今年度は長井市や関係機関のご協力も仰ぎながら、総会・交流会、出前授業、芋煮会、大田区との交流（オープンファクトリー参加）などの活動を展開してきました。また近隣市町の首都圏ふるさと会との交流を促進しようと「置賜会（仮称）」も発足。今後、望郷の想いを共有しながらさらに交流の輪を拡げていきたいと思えます。ふるさと長井会は、活動に参加される方が楽しみながら、息長く継続していくことが大切なことと考えています。それが結果として、長井市の発展に寄与することにつながると確信しています。

どんな展開になるでしょう？
今後の活動に乞うご期待！



ふるさと長井会を牽引する最精鋭 「DX推進委員会」発足!

事務局傘下に新しくできた「DX推進委員会」には、青年部会のメンバー8名が抜擢されました。

事務局と5つの部会が活動中!

ふるさと長井会には、●事務局 ●総務・広報 ●子育て・教育 ●観光・移住 ●産業 ●青年の5つの部会があり、それぞれ役割を担っています。令和6年度下半期～令和7年の活動、各部会^(*)の今後の予定をご報告します。

^{*}1) 部会の活動に参加してみたい方は、ぜひ事務局までご連絡ください。

事務局

今年度は理事会を4回実施。新たに「DX推進委員会」を立ち上げ、会員のネットワークづくりに向けて新システム（サークルスクエア）を導入しました。置賜地域のふるさと会（友誼団体）への参加、地元の地場産品者会議へ参加するなど、ふるさと長井会の知名度アップと地元サポーター会員の拡大に向けた活動も。引き続き、長井のエフエム「おらんだラジオ」の出演で会員の声をお届けしたり、各部会の連携調整も視野に入れながら活動していきます。

観光・移住部会

「友達を長井に連れて行こうキャンペーン」の第1号を実施。参加者からアンケートをいただき、関係各所との共有を図り今後活用します。また長井会のふるさとツアーや置賜地域のふるさと会との共同ツアーを見据え、アルカディア観光局との打合せを継続。長井市アピール活動として、三省堂書店との文庫本カバー企画の実施に向けて準備を進めています。

総務・広報部会

6月に「第10回総会・交流会」を開催。来賓には近隣のふるさと会の皆さまなど多数ご参加いただきました。交流会では山形鉄道の応援や黒獅子まつりの話題、地場産品の販売も。11月の芋煮会では地元食材を取り寄せての芋煮や郷土料理、地酒の飲み比べなどを実施しました。また、当部会は会報誌の発行も重要な役目。昨年度のリニューアルを機に、力を入れています。今後は会員と長井の方々、交流できる場を提供する企画も検討中です。

産業部会

2月に長井市で開催された「DXコンテストファイナルイベント」に理事の奥山睦さんが審査員として参加し、会員はYouTubeで視聴。10月には長井市と大田区産業界の橋渡しの一環として「おおたオープンファクトリー2025」の視察ツアーを企画、会長以下役員の参加で実施しました。その他、地元産業界や商工会議所との意見交換会なども行いました。

子育て・教育部会

引き続き、長井市での公開講義の開催に協力しています。今年度は長井市職業観育成連絡協議会の主催による「中学生のための大学」公開講座にも会員が登壇。8月は前東邦大学医学部講師の杉森賢司さん、9月には立教大学スポーツウエルネス学部教授の沼澤秀雄さんが講義を担当しました。また10月には長井市民講座が開催され、会員の前千葉県立中央博物館上席研究員の高橋直樹さんが、恒例となった一日講座「河原の石ころ観察！」を実施しています。

青年部会

部会メンバーは総会・交流会はもとより、長井市関連のイベントに運営協力を行っています。今年度は6月に、「高輪ゲートウェイシティ」で、開催された「MATSURI JAPAN 2025」では長井市から黒獅子の参加もあり、長井の応援として参加しました。これからもさまざまな形で参加協力するとともに、新会員の加入促進にも取り組んでいきます。

★pick up! 活動トピックス★

会員・沼澤さん、長井市と立教大学を 「スポーツと健康」でつなぐ“連携協定”を実現



2024年10月、長井市と立教大学スポーツウエルネス学部が、スポーツ振興や健康づくりを推進するための連携協定を締結。中心となって実現させたのが会員・沼澤秀雄さん（当時学部長）です。

70周年記念式典内で行われた連携協定締結式。内容市市長、実は立教大学OBです。



10月の「長井マラソン」では、立教大学から学生ゲストランナーが参加。さらに、沼澤さん率いるスポーツウエルネス学部の学生による「ストレッチブース」が設置され、ランナーの皆さんのアフターケアを担当しました。



11月には、長井市スポーツ協会主宰の長井市スポーツ振興懇話会にて講演した沼澤さん。前日には母校の致芳小学校でも小学生向けの講演も。



長井市制施行70周年 記念イベントに参加

2024年に長井市制施行70周年を迎えた長井市。10月に開催された長井市民文化会館での記念式典には関係者など約500人が参加。ふるさと長井会からも会長と理事らが代表で参加しました。

タスパークホテルでの祝賀会も盛大に。代表で参加した役員の皆さん。



「中学生のための大学」で 会員が講師に!

中学生を対象に講義を行う「中学生のための大学（主催：長井市職業観育成連絡協議会）」は、今年度からスタートした。8回のうち2回の講師がふるさと長井会の会員でした。



9月の講義は前述の沼澤さん。いろいろなスポーツに共通した「身体の動かし方」について一緒に考える内容でした。

8月は会員・杉森賢司さんが講師。テーマは微生物学で、生命の起源と特殊な環境に生息する生命体の面白さについて講義。

斎藤雄三さん、「長井市 特別功労」を受彰

長井会副会長・産業部会長の斎藤雄三さんが「特別功労（産業経済功労）」として表彰されました。市内製造業の活性化や企業の販路拡大など、長年にわたる産業振興への尽力が高く評価されての受彰です。

11月、タスパークホテル長井にて開催された長井市市民表彰式にて。



大好評! 第3回となる 河原の石ころ観察会

長井周辺の親子を対象にした「河原の石ころ観察!」講座。会員・高橋直樹さんによる河原での石ころ拾い〜「くると」での座学や観察会。楽しく学びにもなる1日です。

石ころに宿るストーリーは、子どもたちの心に深く刻まれるに違いありません!



野川と最上川の河川敷で、それぞれ石ころの採取。午後にはカナヅチで割って観察します。

長井の味を完全再現! 今年も「芋煮会」を開催

総務・広報部会が毎年企画している秋の芋煮会。羽田イノベーションシティにあるレストラン「HANEDA SKY BREWING（羽田スカイブルーイング）」にて。長井の酒蔵の銘酒飲み比べも加わって長井尽くしの会でした。

また新しい仲間が増えました!



新米おにぎり、菊のお浸し、アケビの炒め煮、玉こんにゃく、行者菜のソーセージなど、料理もすべて長井市のものでした。



長井と言えば…の銘酒もお取り寄せ。「やっぱりこの味!」と飲み比べ。

大鍋で作られた芋煮は、シェフ自ら長井市の中央青果から取り寄せた食材で。長井で習ってきたという味付けを再現してくれました。

今年も笑顔で大集合！ 第10回 ふるさと長井会★総会・交流会★

厳かな総会と、飲み飲みモードの交流会。
今年もメリハリたっぷりに開催しました。
まだ参加したことがない方も、
次回はぜひ現場の空気を体感しに来てください！



【当日の進行プログラム】
日時：2025年6月22日(日) 会場：プラザアペア

＜総会＞ 11:30～12:15 / 3Fリモナ 司会 手塚 真	＜交流会＞ 12:30～14:30 / 2Fオリジア 司会 遠見 則子
1 開会のあいさつ 2 長井市民歌 斉唱 3 こあいさつ 4 ふるさと長井会会長 ふるさと長井会顧問 長井市長 来賓祝辞/来賓のご紹介	1. 開会のあいさつ 2. 来賓のごあいさつ(2名) 3. 乾杯 4 応援ステージ ①山形鉄道 中井社長インタビュー ②「ながい黒獅子まつり」レポート ③長井マラソン応援プレゼン
4 議事 (1) 令和6年度 活動報告/会計報告・監査報告 (2) 令和7年度 活動計画/会計予算 5 長井市職員のご紹介 6 閉会のあいさつ	5. 交流&歓談タイム 6. クイズ&プレゼント 7. 閉会のあいさつ 8. 記念撮影

進化も課題もここで共有！ 総会

活動&予算報告、新年度の計画
など議事は粛々と進行。「会として
の今」と「これから」をみんな
で再確認する大事な時間でした。



指揮を買って
出たのは
内藤英一さん。



初の試み、総会での「長井市民歌」斉唱。しかも開
会のあいさつ直後、全員起立で！



会員のほか、来賓の方々、関係者が勢ぞろい。



顧問としてあいさつする内谷市長。

飲み会じゃ終わらせない！ 交流会

お酒好きの長井人が本領発揮
する交流会。ステージのト
ークもなかなか聞こえにくい状
態に。終盤の「テーブル対抗
クイズ」は、予想を裏切る大
盛り上がり。全員で記念写真
を撮ったのもいい思い出です。



気合い入りすぎじゃね!?

ハッピー&ご当地前掛
け姿で登場！実行委
員長、齋藤隆さん。

今年は、各自が大
きな名札を首から下
げるスタイル。初対面
でも話すきっかけに。



司会進行に、スライド作りに(交流会の
最中も!)、いそむハスミさん。



企画は総務・広報部会が担当。

毎年、何かと
バニクるw



応援ステージ①では、山形鉄道
の中井見社長が登場。

円卓ですが、お酌に立って留守
がちな人も…。



長井市から
さくらんぼの
差し入れ♥



社長自ら
売りに！



長井市在住の
サポート会員
会場のあちこちで名刺交換が始まる。



物販コーナーでは
お酒販売など
新しい試みも！

今年は特別に酒類販売許可
を取得して、地酒も販売！



長井の美味しいものが
所狭しと…。



フラワー長井線の
オリジナルアイテムも。



フラワー長井線ラッピング電
車ボックス、中身はお米です。



黒獅子まつりの感動を語った応援ステージ②。

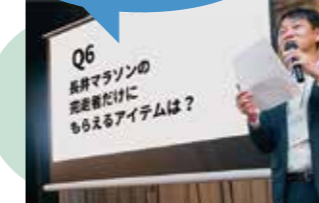


応援ステージ③は長井マラソ
ンの応援トーク。会員・宇津
木章さんによるプレゼンです。

長井マラソンでフル
マラソンに出場する
会員・平正行さん。

オレにも言わせて〜!

プログラム最後は、
テーブル対抗クイズ



総務・広報部会のメンバーが息の
合った連携で進行。



テーブルごとに相談し、ひとつの
答えを出すスタイル。



このクイズ、意外な盛り上がり
を見せました!



正解数の多かったテーブルから順
に景品プレゼント。

わあー、
正解だって!

楽しい時間を
ありがとう
ございました



市長からのメッセージ



ふるさと長井会 顧問
長井市長
内谷重治さん

ふるさと長井会会員の皆さまには、日頃か
ら長井市に格別のご支援を賜り、厚く御礼申
上げます。

ふるさと長井会は設立から10年目となり、
今年度も長井市内企業と大田区内企業とのさ
らなる相互交流推進や関係人口創出に向けた
イベントの開催など、お力添えをいただきま
した。また、小中学生向けの講演では、ふる

さと長井会会員の皆さまの専門知識や経験を
いかしたお話をいただき、非常に貴重な機会
となりました。

長井市は、まちの将来像に「みんながしあわ
せに暮らせる長井〜ずっと笑顔あふれるまち
〜」を掲げています。ここでは、すべての人が
互いに認め合い、誰もが活躍できるまち、市
民が健康で安心して暮らすことができ、笑顔
あふれる長井市にしていきたいという願いが
込められています。

近年、少子化等による人口減少が進行する
なか、大規模自然災害の多発やデジタル技術
の高度化、さらにはライフスタイルの多様化、
さまざまな価値観を認め合う社会やSDGsの
達成に向けた機運の高まりなど、私たちを取
り巻く社会経済環境は著しく変化しています。

このような状況下で、本市が持続的に発展
していくために、市民の健康と安全安心の確
保をはじめ、暮らしやすさの向上や、交流と
定住の促進、デジタル技術の活用によるDX・
GXの推進、そして誰一人取り残さない社会の
実現などの課題に着実に対応していかなけれ
ばなりません。

そのためには、市民の皆さまだけではなく、
さまざまなノウハウを有した市外に住む皆さ
まのご協力が、必要不可欠であると確信して
おります。どうか引き続き長井市にお力を貸
していただき、ふるさと長井をますます盛り
上げていただきますようお願い申し上げます。
結びに、ふるさと長井会の益々のご発展と
会員の皆さまのご健勝、ご活躍を心からお祈
り申し上げます。

今、長井のために——。 私ができること・していること

長井を離れても、長井に暮らしていても。どこにいてもできることはきっとある。
それぞれの場所で動き出している会員たちの挑戦と、その先に描く未来を紹介します。

well-being の森で、 親子の笑顔を支える

鈴木貴子さん
やまがたもりもりの森 主宰
(長井市西根地区出身/長井市在住・サポーター会員)

家族で長井にUターン移住して「平日東京、週末長井」の2拠点生活を送る夫と、ワンオペ育児に奮闘する私も、ようやくこのスタイルに慣れてきました。「子どもたちが「日本の田舎、最高!」と言える社会づくり」をめざし、放置されていた実家裏の森を“well-beingの森”



森には外国人のお客さまも。

に再生したのが「やまがたもりもりの森」。いまや東京や北海道、沖縄、世界からお客様が訪れるようになり、日本の田舎暮らしや里山の魅力を伝える場所になりつつあります。

地元の親子には、長井の自然を満喫できる遊びと学びの場を提供し、少しずつですが視察やメディア掲載も増え、今年には移住者も誕生しました。

今後は森に隣接する古民家(空き家)の再生も予定しています。広大な里山の維持は決して簡単ではありません。それでも、人口減少が進むなか、長井の里山を守り、地域の内外をつなぐ唯一無二の拠点を、これからも仲間や応援者とともにつくっていきます。



子どもたちの賑やかな声がシアワセの証。今やシンボルにもなったカラフルなツリーハウス(もちろんDIY)の前で。



泥だらけになって遊ぶのも日常!



放し飼いのニワトリさんたちと。

ケーナの響きに願いを込めて 音楽の力でフラワー長井線を応援

やぎりん
八木倫明さん
ケーナ奏者・作詞家
(長井市中央地区出身/東京都在住)

2010年元日に《広い河の岸辺》の訳詞を10分で書き上げた。「この歌はいつか有名歌手が歌い、TVやラジオで流れ、日本中に広まる」と根拠なき確信を持った。なぜなら、自分が書いたのではなく宇宙の意志が書かせてくれた気がしたから。小学校の国語の宿題以来、詩作の経験のないボクになぜこれを書けたか?

子ども時代に意識が遡る。保育園、小中高校で出会った先生方や友人を思い出



緑がラッキーカラーのやぎりん。

す。もちろん家族のことも。置賜の自然や長井で出会った人たちが、宇宙の意志となってボクにこの歌詞を書かせてくれた。そう直感するとふるさとが愛おしく思えた。そんな時、高校の同窓会や「ふるさと長井会」へのお誘いがあり、置賜の人に会いたくなった。

2025年、フラワー長井線が詐欺に遭い、絶大な被害を受けたことはNHKラジオで報じられた。ピンボケなボクに何かできるとすればチャリティコンサートをすること。東京には、長井市出身でも詐欺事件を知らない人もいて、コンサートのチラシを見て驚いていた。その中からコンサートとは別に寄付したい人も現れた。情報発信と具体的に動くことが大切だ。始めたことを継続することはさらに大切だと思う(原文のまま)。



フラワー長井線チャリティコンサートのメンバー。やぎりんカルテット・リベルタ。

自宅兼アトリエで制作にいそむ。



誰もが忘れかけた長井の美意識を、 糸と針で全国へ

大竹桃子さん
長井さしこ職人
(京都市出身/東京都在住)

長井市の伝統工芸「長井さしこ」に魅せられ、地元でも忘れかけられていたこの技を次の世代に残したい——。そんな思いで、momosashicoとして継承活動を始めて8年になります。

2025年は、活動の場が一気に広がった年。西荻窪の雑貨店でのワークショップを皮切りに、日暮里・新宿ではオーストラリアやニュージーランドからのツアー客を迎え、針山作りを体験していただいたり、京都や山形・河北町でも展示会やワークショップを重ねることができました。

来年は沖縄での個展や、デニムブラン

ドとのコラボにも挑戦。そして長年の夢だった「長井で自分のギャラリーを持つこと」がついに実現します。

長井駅前『Cafe & Lunch 山ノ下』の2階に、2026年5月オープン予定の小さなギャラリー。その準備のため、月に一度は長井を訪れ、カフェのお客様との出会いを楽しみにしています。

長井さしこを通じて全国へ、世界へと「長井」という町の名前や魅力が広がっていくこと——。それが私なりに、長井のためにできることだと思っています。



大竹作品の特徴は、日常使いができること!

六本木に、長井が現れた。

—— アメフラシ、森美術館へ。3月まで

六本木ヒルズの森美術館で開催中の「六本木クロッシング2025展」に、長井市のアーティスト集団「アメフラシ」が選出され、作品を出展しています。

六本木クロッシングは、日本の現代アートを代表する作家が集う、森美術館の大型企画展。その舞台に長井の名が並びました。

アメフラシは、長井の暮らしや風土、工芸、人との関係性の中で表現を育んできた存在です。展示作品「kosyau (こしゃう)の壁を移築する」は、アメフラシの拠点の一部を森美術館に持ち込む試み。そこに現れたのは、長井そのものとしか言いようのない空間でした。

会期中には森美術館での草鞋編みワークショップが予定され、来年2月には、森美術館との合同企画による長井ツアーも開催されます。

長井で育まれた表現が、六本木という舞台で確かな存在感を放っています。ぜひ会場で確かめてみてください。



長井市を拠点に活動するアーティスト集団・アメフラシ (2015年結成)。



拠点であり市民アトリエでもある「Kosyau」は、廃工場を活用したプロジェクト。Kosyauとは、ご存じ山形方言の「こしゃう=つくる」の意味。



森美術館に現れた、Kosyauの壁。「Kosyauプロジェクト」自体が作品になっているリアル。



森美術館ショップに並ぶ、アメフラシのオリジナルアイテムの数々。長井のほうきやちりとりまで！



黒獅子を振る男たちが今も履く「草鞋(わらじ)」。その技と意味を次の世代へつなぐ「草鞋プロジェクト」。



- 六本木クロッシング2025展
「時間は過ぎ去る わたしたちは永遠」
- 会期：2025.12.3-2026.3.29
- 会場：森美術館 (六本木ヒルズ)
- *詳しくは森美術館のサイトへ

東京の真ん中で長井が動いている！

—— 八芳園がつなぐ、食と文化



「けん玉のまち長井」をアピールしにやって来た、けん玉ひろばスパイクの面々。



ここでしか食べられない長井メニュー。隣のトレーラーショップにも「長井」がわんざか。

東京・白金台の八芳園は、長井市と「パートナーシップ協定」を結び、食や文化を通じて長井の魅力を発信してきました。東京にいながら長井に出会える場が、少しずつ、確実に広がっています。

2025年6月には、高輪ゲートウェイステイで八芳園プロデュースの「Matsuri Japan 2025」を開催。2日間の来場人数は2,000人超え。会場には「ながい黒獅子まつり」と、けん玉パフォーマンスチームが登場。屋内外のステージで黒獅子が舞い、近未来的な空間に長井の伝統文化が現れるという異色のコラボ。駅前には長井市のトレーラーショップも出店し、農産物や地酒、加工品などが並びました。

2025年12月には八芳園運営の2つのレストランで「長井市フェア」を開催しました。

東京の風景の中に、ふいに現れる長井。八芳園から、そんな出会いが生まれ続けています。

巨大なビル群を背景にした、森 津島神社の獅子振り。この風景に息をのみました。

選ぶなら、長井のものを。

—— 買い物が、ふるさとへのエールになる

ふるさと納税は、特別なことをする制度ではありません。返礼品の多くはさまざまな通販サイトで手に入る時代。それなら、いつもの買い物を「長井のもの」に替えてみる——。それも、ひとつの応援です。

ふるさと納税による寄付金は、長井市では子育てや教育・文化、環境保全、フラワー長井線の支援などに活かされています。「応援するぞ」と気負わなくてもいい。いつもの選択を少しだけ長井寄りに。そんな関わり方も、ふるさと納税です。



「A5ランク」米沢牛もステーキ



ブランドオレの長井とろけるプリン

長井市 ふるさと納税

*楽天やAmazonなどの通販サイトでは、「ふるさと納税」カテゴリから探すのが近道です。

ふるさと長井会 会報 No. 9

発行日 2025 (令和7) 年12月25日
発行者 ふるさと長井会

■編集スタッフ

編集・取材・文/蓮見則子 (ふるさと長井会 総務・広報部会)
デザイン/保科薫 (ディッシュ)
撮影/米屋こうじ (表紙・P2-3)、渡部純 (P3)、鈴木亮 (P4)、齋藤嘉一 (P6-7、8-9)、大竹桃子 (P4)、遠藤真之亮 (P4)、蓮見則子 (P2-3、P4-5、P6-7、P8、P12-13)

■ふるさと長井会 東京事務局 (長井市東京事務所内)

〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-3-6 橋本ビル1F
Tel: 03-6424-7860 E-mail: tokyo-office@jibasan.com

■ふるさと長井会 事務局 (長井市総合政策課内)

〒993-8601 山形県長井市栄町1番1号
Tel: 0238-82-8001 E-mail: koryu@city.nagai.yamagata.jp

attention!

住所や電話番号、メールアドレスが変わった方は…事務局までご連絡ください。



ホームページ
<https://furusato-nagaikai.jp/>



Instagram
@furusato_nagaikai

Q. 長井駅を出て左に見えるのは?
A. 長井交通です。
タクシー待ち 0分の安心♡

9人乗りもあります!

長井交通(株)
0238-88-2171

長井の豊かな大地が育んだお米。

長井のお米は 早川ライスのふるさと納税で!



当店では、長井市、飯豊町の農家のお米を取り扱っております。
長井産を「希望の方は、「長井産」と指定ください。

ふるさと納税 早川ライス

山形が世界に誇るお米。
甘みと香りが広がります。
輝く白さと、口に入れた瞬間

つや姫



減農薬・特別栽培米

HPIはこちら

令和7年度新米は10/21(火)から発送できます。
新米のご予約はお電話・FAXにて
TEL **0238-88-2830**
FAX **0238-88-3091**
電話受付時間 10:00~18:00 (土・日除く)

「自家精米」と「冷蔵庫保管」のお米屋

早川ライス

山形県長井市新町7-33 <https://okawarigohan.com/webshop.html>



山形を関東に!



江戸蕎麦の聖地。東京神田で20年間営業後、2024年11月に埼玉県に移転! 山形の魅力を発信するベースとして再開業。
長井市と河北町の魅力にまつた「かほく冷たい肉そば大使」が日々奮闘しています。

冷たい肉そばと小料理 **河北や**

〒335-0013 埼玉県戸田市喜沢1丁目4-8番25号
☎048-446-7323

長井機械工業協同組合

朝日金属工業 株式会社

代表取締役社長 加藤 雅浩
〒993-0042 長井市平山 647-3 TEL 0238(84)1890

四釜金属工業 株式会社

代表取締役 四釜 英輝
〒993-0031 長井市泉 2197-1 TEL 0238(88)2862

株式会社 四釜製作所

代表取締役社長 四釜 雅之
〒993-0075 長井市成田開 853-4 TEL 0238(88)2891

株式会社 昌和製作所

代表取締役社長 小関 博資
〒993-0041 長井市九野本 449 TEL 0238(84)1201

株式会社 寺嶋製作所

代表取締役 寺嶋 宏武
〒993-0007 長井市本町 2-12-8 TEL 0238(84)1597

株式会社 長井製作所

代表取締役社長 横山 和彦
〒993-0015 長井市四ツ谷 1-4-36 TEL 0238(84)2012

長井を拠点にした 文化的実践

アメフラシ: 2015年より長井を拠点に活動・現在のコアメンバーは3人。Kosyauの運営や、プロジェクトメンバーと箒・草鞋の継承を通じた文化活動をしています。

長井ブルワリークラフトマンとのコラボで、文化をテーマにしたビールも作っています。

アメフラシとKosyauの仲間たち



Photo: Kenshiro

Kosyau: 元印刷工場をリノベーション。アートクラス(書道教室やデッサン教室)や作家アトリエ、工房として活用。

朝日連峰や最上川を望む客室で、癒しのお時間を。
広いサウナや置賜初の炭酸泉など
充実した温浴施設で、心身ともにリラックス。

温浴施設 セルフロウリュウができるサウナ ととのいスペース



TAS Park Hotel NAGAI 夕sparkホテル長井

長井市館町北6-27 ☎0238-88-1833

木のぬくもりを感じる、落ち着いた雰囲気店内。
長井の地酒や地域食材で心づくしのおもてなしをお約束。
「夕sparkホテル長井」

話が弾むカウンター席 座卓を置いた座敷 旬の食材を使用したお料理



ARCADIA PURE HONEY

2025年採取の
「三淵のはちみつ」

第7回ハニー・オブ・ザ・イヤー
「三淵のはちみつ”初夏”」優秀賞受賞

新サイズ 80g **今秋発売**

【アルカディアはちみつプロジェクト】
美しく魅力的なアルカディアエリアの自然の恵みがたっぷり詰まった
はちみつを季節ごと採取しております。
花の種類にこだわらず、その土地の気候・風土そのものを堪能できる
味わい深いはちみつを目指生まれました。

お求めは
「やまがたアルカディア観光局HP」、長井市「川のみなと長井」にて

(一社)やまがたアルカディア観光局 URL: <https://arcadia-kanko.jp/>
〒993-0003 山形県長井市東町2-50 TEL: 0238-88-1831
道の駅 川のみなと長井内 FAX: 0238-88-1812



暮らしに潤いを



畠梅村呉服店

長井市本町1-3-18 ☎0238-88-2235
営業時間 9:00~18:30 第1.3水曜日休日

Miracle fashion & Salon

Magic





HP Instagram 公式LINE

ながいピオニーの森

ようこそ! 巧菓のあつまる森のテーマパーク



花公園 芍薬・ハーブ・コスモス・ヒガンバナ・コキア
キャンプ オートサイト(電源あり)・フリーサイト
宿泊 ゲストハウス・トレーラーハウス
日帰り温泉 長井あやめ温泉ニュー桜湯
アクティビティ 大型ブランコ・キッズパーク ※施設内 Wi-Fiあり

ながいピオニーの森
山形県長井市寺泉4246-2
☎050-3490-0222
<https://peony-forest.jp>



ふるさと長井の野菜・果物を
まごころ込めてお届けします。






総合企画
株式会社 旬
代表取締役社長 大山 峰加
〒993-0033 山形県長井市今泉563
Tel:(0238)84-6000 Fax:(0238)84-5100

長井中央青果株式会社
代表取締役社長 大山 友規憲
Tel:(0238)84-6111 Fax:(0238)84-5100

宿泊・宴会
やすらぎと癒しの空間 **はぎ苑**

里がえりの際には
ぜひご利用下さいませ




アパートメント型ホテル **The H** 日帰り・源泉100%・大露天風呂 卯の花温泉 **はぎ乃湯**





株式会社 **長井観光** 長井市成田2170-2
☎0238-84-1387

はぎ苑



JA山形おきたま ふるさと宅配便

いいね！ おきたま

◀ご購入はこちら
または検索ワード
「おきたま ふるさと」
<https://furusato-okitama.jp/>




Instagram
@ja_okitama

山形県長井市 株式会社中央タクシー 電話 0238-84-2157

スマートフォンサイト
<http://sp.chuou-taxi.co.jp/>

昭和51年創業以来、安全・安心・快適をモットーとし、おもてなしの心で皆様の足として地域に貢献しております。観光・介護・環境をキーワードとし、多方面に拡大躍進を目指しております。

観光タクシー
山形県観光地域・長井市内の観光は、乗って安心地元の中央タクシーです。

介護・福祉タクシー
高齢者の方や身体の不自由な方の外出をお手伝いします。

おすすめタクシー観光

山菜狩りコース
朝日連拜館
5月上旬～6月下旬

登山コース
朝日連拜、祝融山、熊鷹山方面のご案内

古民家で味わう餅と蕎麦 獅子頭ギャラリー

獅子頭煙亭

shishiyado ibushitei
〒993-0021 山形県長井市上伊佐沢2900
木曜定休 ☎0238-84-1143



@SHISHIYADO_IBUSHITEI

梅津武税理士事務所

所長税理士
梅津 武

〒101-0047
東京都千代田区内神田1-14-16
クラッシーハウス302
Tel.03-5283-9283 Fax.03-5283-5284
E-mail: umetsu-zei@etude.ocn.ne.jp

長井市中央地区(館町南)出身
ふるさと長井会 会員

中央会館がリニューアルして**全席椅子席**で**個室**になりました。**鉄板焼きカウンター**も好評です！！



米沢牛 A5 ランクのステーキを
目の前で調理してお出します。



話題の鉄板焼ステーキカウンター



店内は**全席個室のバリアフリー**に。**車椅子**でもお越しいただけます。



ゲストハウス「ねしえる」も
人気です!!
18畳のお部屋に1日1組限定!
1泊お1人様¥5,000(税込)

くらさき

KURASAKI

山形牛もつ鍋と山形県産新米をセットでお届けします!

山形牛もつ鍋フル 4~5人前 & 山形県産「雪若丸」新米 2kgセット 8,500円(税込)送料別
山形牛もつ鍋ハーフ 2~3人前 & 山形県産「雪若丸」新米 2kgセット 5,500円(税込)送料別



山形牛のモツと、長井市の食材をふんだんに使ったもつ鍋のセットです。疲労回復や免疫力アップに効果的! さらにコラーゲンたっぷりです。美肌効果も! **長井の味**をぜひご家庭でお楽しみください。

新米!!

「雪若丸」は大粒で食べ応えがあり、一粒一粒にしっかりと弾力と甘みがあり、あっさり上品な味わいです。

ご予約・お問い合わせ 長井市栄町 7-2
鉄板焼 & 和風ダイニングくらさき 中央会館 0238-84-1671



市民直売所 「おらんだ市場 菜なポート」

地元農家の愛情たっぷりの野菜や果物が毎日あふれんばかりに並び、朝採りの新鮮なおいしさがダイレクトに味わえます。地域特産品を活かした加工品や菓子、お肉、お魚、お惣菜などを豊富に取扱っている『来て、見て、楽しめる直売所』です。



〒993-0007 山形県長井市本町二丁目4-36-1 営業日 年中無休 ※年始3日までを除く
☎0238-83-2345 営業時間 9時～19時
fax0238-88-2077 <http://www.nanaport.com>



観光交流センター 「道の駅 川のみなと長井」

観光情報の発信、地域の物産品・青果物などの販売を担っています。開設9年目を迎え、今年6月には累計来場者が400万人に到達しました。これもひとえに皆様方のご支援を受けた賜物と感謝申し上げます。観光客の方、地元の方に「来てよかった」と思われるよう、職員一同「一期一会」の気持ちでお待ちしております。



伊佐沢産スイカ 冬の定番 みそ餅 りんご漬け



川のみなと長井

〒993-0003 山形県長井市東町2-50 営業日 年中無休
☎0238-87-1121(代表) 営業時間 9時～18時 (1月・2月は～17時) トイレは24h解放
✉info@kawanominato.jp <http://kawanominato.jp>



うまい山形まるかじり！ 「ふるさとショッピング」

ふるさとショッピングでは山形県置賜地方の特産品を全国にお届けしています。「川のみなと長井」の商品も取り揃えたオンラインショップもございます。オンラインショップでお買い物いただいたお客様には、季節の果物や、野菜、工芸品等を掲載したカタログを年に3回お送りしています。

ながいファン倶楽部
山形県長井市♥一まちに愛して〜



▲Instagram

長井の"今"を発信しています！

(一財) 置賜地域地場産業振興センター



〒993-0011 山形県長井市館町北6-27
☎0238-88-1398
◀オンラインショップ <https://shop.jibasan.com/>